

千秋公園再整備基本計画の進捗評価について

1 はじめに

本市では千秋公園において、これまで継承してきた久保田城および千秋公園の歴史と、まちの中で育まれてきた自然環境を活かすとともに、誰もが楽しめるにぎわい空間の形成を目指すため、平成30年3月に千秋公園再整備基本計画を改定した。

改訂後、同計画に掲げる施策を実施してきたが、令和5年3月で計画の改定から5年が経過し、短期（早急に対応すべき施策：5年以内）の計画期間が終了したことから、短期計画を中心に進捗状況や課題等を点検、検証し、計画の見直しの要否について評価するものである。

2 計画の構成

千秋公園再整備基本計画では5つの基本方針を設定し、各基本方針に対応した再整備計画として27項目60施策が掲げられており、各施策には取り組むべき具体的内容が位置づけられている。

3 評価の方法

評価の対象については、計画策定から5年を経過した段階での実施となるため、短期（早期に対応すべき施策：5年以内）計画の取組状況を中心に評価する。

評価の内容については「再整備計画」内の施策について、整備工事やその他取組等から実施状況を確認することとし、この結果に基づき「まとめ」として、基本方針ごとに今後の対応方針、さらに最終的な総括と計画の見直しの判断について考えを示す。

※施策の評価の考え方

各施策に位置付けられた具体的取組内容について、それぞれ進捗状況（完了・継続中・未着手）を判断し、それを基に次の3段階で施策を評価する。

「完了」 … 施策に位置付けられた取り組みを全て実施した場合
また、それに相当すると考えられる場合

「継続中」 … 施策に位置付けられた取り組みに着手した場合
また、それに相当すると考えられる場合

「未着手」 … 施策に位置付けられた取り組みに一つも着手できなかった場合

（評価の例）取り組みに着手し「継続中」の場合

施策	施策に関する 具体的内容	完了	継続中	未着手	施策の評価
施策 A	取組 a	○			継続中
	取組 b		○		
	取組 c			○	

基本方針 1 緑や花と風景の再生による、新たな魅力の創出

1 基本方針の方向性

- ・ さくら、つつじ、ハスなど四季折々の花と緑豊かな公園
- ・ 秋田市街地を望む良好な眺望や明るく開放的な空間の確保
- ・ 市街地に残る貴重な樹林地の保全と利活用
- ・ 園内に生育・生息している貴重な動植物の保護と次世代への継承

○実施状況と評価

項目	整備計画		進捗状況			施策の評価
	施策	施策に関する具体的内容	完了	継続中	未着手	
1 四季折々の草花による花修景	(1) さくらの再生 【短期】 【中期】 【長期】	さくらの更新		○		継続中
		さくら再生重点エリアの設定		○		
		ワークショップの開催とさくらサポーターの育成		○		
		さくら再生検討組織（トラスト）の常設			○	
		シンボルツリーの設定とPR			○	
	(2) ハスの適正管理 【短期】	草や藻の除去、花たぐの刈取りなど適正な管理を継続する		○		継続中
		水質や生態系と景観とのバランスに配慮したハスの育成を図る			○	
	(3) つつじ、藤の育成・拡大 【中期】	つつじの育成・管理を継続する		○		継続中
かつてのように胡月池の藤棚を拡大する				○		
(4) その他の草花による演出（胡月池北側など） 【短期】	胡月池北側部分に、児童遊園地からジャーマンアイリスを移植するなど、草花が楽しめる花壇を整備する			○	継続中	
	アヤマヤコウホネなど各所で咲く草花の育成・管理をする		○			
2 眺望景観や開放的な空間の確保	(1) 景観眺望点の整備 【短期】	景観眺望点（フォトスポット）を設定し、場所の明示や案内板を設置し、支障木のせん定などの整備を行う		○		継続中
	(2) 景観阻害要因の改善と開放的な空間の確保 【中期】	表門を見た際の視線阻害となる樹木をせん定する	○			
		本丸広場の衰退木、久保田城御隅櫓への視線阻害となる樹木を伐採・せん定する		○		
		久保田城御隅櫓、御出し書院およびアヤマ園付近からの眺望阻害となる樹木を伐採・せん定する		○		
3 堀の保全、水質浄化	(1) 内堀、黒門の堀の水質浄化 【短期】	内堀や黒門の堀について、堆積物の除去や外堀等からの導水量を増やすことなどにより水質の改善を図る		○		継続中
		現在行っている水質浄化対策を継続し、水質の保全を図る		○		
	(2) 堀の保全と適切な維持管理 【短期】	外堀（穴門の堀、大手門の堀）を保全し、定期的な清掃や水質調査等の適切な維持管理を行う		○		継続中
		内堀・黒門の堀を保全し、定期的な清掃や水質調査等の適切な維持管理を行う		○		
4 自然フィールドミュージアム	(1) 拠点および回遊ポイントの整備 【中期】	公園管理事務所移転後の跡地を休憩施設（ベンチ、トイレ）として整備し利用拠点のひとつとして整備する			○	未着手
	(2) 自然解説板・案内板の整備 【中期】	自然ゾーンの魅力伝えるための見ごろマップやモデルルートなどを示した案内板を新たに整備する		○		
	(3) 樹林地適正管理と植生回復 【短期】 【中期】 【長期】	斜面沿いの枯損木等は、適宜伐採を行うとともに樹林地内の開放的な空間の確保と併せて、定期的な下草刈りを実施する		○		
5 貴重な動植物の保護および管理	(1) 継続的な自然環境調査の実施 【短期】 【中期】 【長期】	貴重な動植物・植生等の自然環境調査を実施する		○		継続中
		継続的な調査により、自然環境の変化を把握し、保護・保全対策に活用する			○	
	(2) 貴重な動植物の保護、生息・生育環境の保全（外来生物対策含む） 【短期】 【中期】 【長期】	千秋公園に生息する貴重な動植物を保護するため、生息・生育環境を保全する		○		継続中
		新たな公園整備の際には、生息・生育環境に配慮した整備を行う		○		
	市民へ情報提供を行い、貴重な動植物の保護に関心をもってもらうとともに、外来生物が進入しないよう注意喚起を促す			○		

2 施策の進捗状況

(1) 各施策の進捗状況

- ・継続中の施策（全計画期間）
13施策中12施策（着手率 92%）
- ・継続中の施策（短期計画）
9 施策中 9 施策（着手率100%）

(2) 完了している主な施策

継続実施が必要な施策がほとんどであり、現時点で完了した施策はない。

3 課題と今後の対応方針

(1) 継続中の施策について

さくらの更新やつつじ、ハス等の適正管理を引き続き実施していくとともに、整備に合わせて景観の妨げとなる樹木の伐採等の適正管理を実施していくことで、開放的な空間の創出に努めていく。

また、堀の水質改善や維持管理については、現在実施している取り組みを継続していく。

(2) 未着手の施策について

公園内の貴重な花や緑の開花情報や貴重な動植物に関する周知等が不足しており、今後はホームページ等での発信や関係機関等と連携することで、千秋公園の自然に親しむためのモデルルートを設定するなど、効果的な情報発信の方法を引き続き検討していく。

※平成30年度から令和5年度までの主な取組・事業

- さくら景観整備工事（随時） …さくらの更新、再生重点エリアの設定
- さくらに関するワークショップの開催（H31、R2、R4、R5）
…WSの開催とさくらサポーターの育成
- 景観眺望整備事業（H31、R2） …景観阻害要因の改善
- アヤメ園の管理（随時） …草花による演出
- 堀のハスの枯れ葉除去（随時） …堀の保全と適切な維持管理
- 胡月池設備更新工事（H30） …胡月池の水質浄化
- 内堀水質浄化業務委託等（H31、R4、R5） …内堀、黒門の堀の水質浄化
- 公園内行為許可による黒門の清掃（R5） …内堀、黒門の堀の水質浄化
- 旭川からの取水による水循環（随時） …堀の保全と適切な維持管理
- 各堀の水質検査（随時） …堀の保全と適切な維持管理
- 自然環境調査の実施（環境総務課）（R4：魚類調査、R5：昆虫類調査）
…継続的な自然環境調査の実施

基本方針2 歴史的遺構の保全と継承、さらなる活用

1 基本方針の方向性

- ・城跡公園としての魅力向上のため、歴史的建造物の復元整備
- ・利用者に分かりやすい歴史解説板等の充実
- ・久保田城跡の地形保全および景観阻害要素の改善
- ・歴史的景観要素（建造物等）の改修・整備
- ・佐竹史料館を郷土学習および観光振興の拠点として改築

○実施状況と評価

整備計画			進捗状況			施策の評価
項目	施策	施策に関する具体的内容	完了	継続中	未着手	
1 城跡の地形保全（土塁、縄張り等の保全・管理）	(1) 樹木の伐採・管理（地形保全対策）【短期】【中期】【長期】	丘陵地形を活かした城跡としての特徴的な土塁、縄張り等を保全するため、根系が地上部に露出して土砂流出の要因となっている樹木を伐採する			○	未着手
	(2) 土砂流出抑制植栽、斜面保護【短期】	土塁の表土の流出が懸念される箇所へ、植物の良好な生育のための緑化基盤材や地被植栽を行い、土砂流出の抑制を図る		○		継続中
2 歴史的建造物の整備	(1) 松下門跡の解説板設置（※復元は行わない）【短期】	大坂にかつて位置していた松下門の歴史調査結果を記述した解説板を設置する			○	未着手
	(2) 歴史性を演出する施設の整備【短期】	久保田城への登城ルートの一つである中土橋通りと大坂の境に、歴史を演出する門をイメージした施設を整備する	○			完了
	(3) 御出し書院の平面表示による復元【中期】	歴史的資料をもとに、部屋割りなどがわかるよう建物の平面表示による復元を行う			○	未着手
	(4) 黒門の整備【中期】	歴史調査をもとに、現在、礎石がある位置に黒門を整備する			○	未着手
	(5) 唐金橋跡整備（※復元は行わない）【中期】	土橋のまま高欄を模した防護柵を整備し、かつての正式な登城ルートとして、大手門通りから視認しやすいデザインとする		○		完了
3 歴史的景観要素（鐘楼・茶室等）の改修・整備	(1) 鐘楼の改修【短期】	老朽化した鐘楼を公園のシンボルの一つとして改修する	○			完了
		歴史的景観に配慮したデザインとする	○			
		鐘楼は周囲から視認でき、景観の添景となる箇所配置する	○			
	(2) 茶室（宣庵）の改修【中期】	茶室等の老朽化が進んでいる建築物を改修する			○	未着手
茶室や手水鉢の由来等を記述した解説板を整備する				○		
4 景観阻害要素（支障木・施設建造物等）の改善	(1) 景観眺望・阻害要因の改善【短期】	景観阻害要素となっている樹木や電線等を整理する		○		継続中
	(2) 私設建造物のデザインコントロール【短期】【中期】【長期】	公園内に立地する私設建造物など、景観と調和のとれたデザインへの誘導を図る			○	未着手
5 佐竹史料館の改築	(1) 佐竹史料館の改築【短期】	歴史を活かした観光振興にも寄与する施設として整備する		○		継続中
6 久保田城御隅櫓の魅力向上	(1) 久保田城御隅櫓の魅力向上【短期】【中期】	佐竹史料館の改築に合わせて、展示内容の見直しを行い、楽しみながら学べる展示を目指す			○	継続中
		展望室からの眺望は御隅櫓の魅力の一つであり、生長により眺望阻害となる樹木については、伐採・せん定する		○		
7 歴史フィールドミュージアム	(1) 歴史解説板の充実【短期】【中期】	来館者が公園内の史跡を実際に確認できるようにQRコード等を歴史解説板に掲載し、調査・研究されてきた地図や絵図、歴史資料をスマートフォン等に表示することを検討する			○	未着手
		モデルコースを示したパンフレットや、公園内の史跡をスタンプラリー形式で回れるカードの作成などを検討する			○	
		土塁と堀で構成されている久保田城の縄張りがかかる箇所に歴史解説板を整備する			○	

2 施策の進捗状況

(1) 各施策の進捗状況

- ・継続中の施策（全計画期間）

14施策中7施策（着手率 50%） ※うち完了した施策 3施策

- ・継続中の施策（短期計画）

10施策中6施策（着手率 60%） ※うち完了した施策 2施策

(2) 完了している主な施策

- ・歴史性を演出する施設の整備【短期】

中土橋通りと大坂の境に、歴史性を演出する門を整備した。

- ・唐金橋跡整備【短期】

正式な登城口である黒門跡に高欄を模した防護柵を整備した。

- ・鐘楼の改修【短期】

現在の鐘楼の位置に改築を実施した。

3 課題と今後の対応方針

(1) 継続中の施策について

歴史的地形を保全するための土砂流出対策や、景観要素の改善のための支障木伐採等については他事業と合わせて今後も対策を継続していくとともに、より効果的な対策箇所の調査について検討していく。

(2) 未着手の施策について

歴史的建造物の整備（復元）や歴史解説板等の整備による情報提供の充実については、有識者および関係課所室等との協力の上進めていく必要があり、情報共有を図りながら計画の実施を検討していく。

※平成30年度から令和5年度までの主な取組・事業

- | | |
|------------------------------|----------------|
| ●景観眺望整備事業（H31、R2、R3） | …景観眺望・阻害要因の改善 |
| ●大坂等融雪設備整備工事（R2～R3） | …歴史性を演出する門の整備 |
| ●大坂等融雪設備整備工事（二の丸広場～唐金橋跡）（R3） | …高欄を模した防護柵の整備 |
| ●市民交流ゾーン園路整備工事（R4） | …植栽による土砂流出抑制 |
| ●さくら景観整備工事（R4） | …植栽による土砂流出抑制 |
| ●鐘楼更新整備工事（R5） | …歴史的景観要素の整備 |
| ●佐竹史料館の改築（R7年10月開館予定） | …歴史および観光振興施設整備 |

基本方針3 多様な目的への配慮、だれもが利用しやすい公園づくり

1 基本方針の方向性

- ・多様な利用形態に配慮し、アクセス性・利便性の向上
- ・利用者の動線や利用拠点を見直し、利用しやすい空間を創出
- ・便益施設等の充実を図り、だれもが利用しやすい公園づくり

○実施状況と評価

項目	整備計画		進捗状況			施策の評価
	施策	施策に関する具体的内容	完了	継続中	未着手	
1 駐車場の拡充	(1) 駐車場の拡充 【短期】 【中期】	市民交流ゾーンの東側（現在、児童遊園地として利用）に、新しく駐車場（有料）を整備する		○		継続中
		既存駐車場については、老朽化している機器等の再整備を行う		○		
		大型バスについては、近隣に大型バス駐車場が不足していることから、既存のバス専用駐車場を現状のまま利用するものとし、より活用されるようにPRに努める		○		
2 利用しやすい遊び空間の充実	(1) 児童遊園地の再配置 【中期】 (2) 自然や地形を活かした遊具の整備 【中期】	駐車場の施設と併せて、児童遊園地の機能を胡月池北側（馬場のモミ付近）に再配置する 遊具のデザインは城跡公園の景観に配慮したものとす			○	未着手
		アスレチック等の遊具整備を検討する 新たに整備する児童遊園地と駐車場の利用動線の強化を図るため、斜面地形を活かした滑り台やアスレチック遊具の整備を検討する			○	未着手
		水はけが悪く生育不良となっている市民広場は、土壌改良や排水改善を行い、快適な芝生とする			○	未着手
3 アクセス性・利便性に配慮した動線確保	(1) 動線の整備や拡幅 【中期】	動線の整備として、自然拠点（例：あやめ園周辺、公園管理事務所跡地）や歴史拠点（例：御出し書院）と結ぶ動線（園路）を整備し、園内の周遊性を高める			○	継続中
		動線の拡幅として、新設駐車場から市民広場へ接続する階段を拡幅し、公園へのアクセス性を強化する	○			
	(2) 二の丸エントランス整備（車寄せ・駐車場） 【短期】	二の丸への導入部分に車寄せを整備する また、公園のエントランスにふさわしい景観とする			○	未着手
		アクセス性に配慮し、車寄せ横に障がい者用および観光タクシーの駐車場を整備する			○	
	(3) 二の丸から本丸のアクセス性向上 【中期】	障がい者、高齢者等の本丸へのアクセス性向上のため、本丸北側に障がい者等駐車場を確保する			○	未着手
(4) 動線のユニバーサル化（階段・スロープ手すり整備） 【短期】 【中期】	新設駐車場の西側斜面階段は、ユニバーサルデザインに配慮し、手すりを整備するとともに幅員を拡幅する	○			継続中	
	園内の階段やスロープは、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」（平成24年3月国土交通省）に基づき、手すりを整備する		○			
4 案内機能の強化	(1) 総合案内板、誘導標識の見直し 【短期】 【中期】	外国人利用に配慮し、近年需要が高まっている総合案内板の多言語表記や内容を見直す		○		継続中
		整備時期の違いによる様々なデザインの総合案内板は、改修の際に統一したデザイン方針に基づき整備する			○	
		公園アプローチ動線や回遊性を考慮した案内標識について、周辺施設と連携を図りながら整備する			○	
	(2) 新たなフォトスポットの設定・広報 【短期】 【中期】	既存のフォトスポットをインターネット、SNS等を通じて広報する			○	継続中
再整備される黒門や鐘楼、樹林地からの眺めの良い箇所を新たなフォトスポットとして設定する			○			
5 休憩施設およびトイレの見直し・改修	(1) ベンチ、四阿の見直し・改修 【短期】 【中期】 (2) トイレ配置の見直し・改修 【短期】 【中期】	老朽化しているベンチや四阿について、維持管理面に配慮し、耐久性の高い構造で改修する		○		継続中
		老朽化しているトイレや、バリアフリーに対応していないトイレを改修する			○	未着手
		改修と併せて、景観阻害要素となっているトイレの配置を見直す			○	
		公園利用に配慮し、自然ゾーンの拠点となる公園管理事務所跡地にトイレを新設する			○	
6 便益施設の魅力向上	(1) 売店および私設店舗の魅力向上 【短期】	公園利用ニーズに合わせ販売商品の見直しやPR等により、魅力向上に努める		○		継続中
		カフェやレストランなど飲食施設の整備は市民ニーズが高いため、私設店舗と協力して、市民広場へのオープンカフェ、ケータリング等を検討する		○		

2 施策の進捗状況

(1) 各施策の進捗状況

- ・継続中の施策（全計画期間）
12施策中7施策（着手率58%）
- ・継続中の施策（短期計画）
8施策中6施策（着手率75%）

(2) 完了している主な施策

現在完了に至った施策はない。

3 課題と今後の対応方針

(1) 継続中の施策について

駐車場の整備については、マーケットサウンディング調査を実施し、整備案等について意見等を募集しており、今後は整備に向けて現地調査等に移行していく。

園路や施設の整備については、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づき、だれもが利用しやすい公園整備を進めていく。

(2) 未着手の施策について

児童遊園地の再配置については、公園事務所の再配置と併せて検討することとし、同エリアに適した遊具等の配置について検討していく。

案内機能の強化に資する総合案内板や誘導標識の見直しについては、周辺の文化施設等の既存の案内板と、デザイン面等で連携を図りつつ、利用者に配慮した整備を検討していく。

※平成30年度から令和5年度までの主な取組・事業

- パークマップの見直しとHP公開（R2）…フォトスポットの設定・広報
- 大坂等融雪設備整備工事（R2～R3）…老朽化したベンチの改修（黒門跡）
- 移動販売車による社会実験（R2～R3）…私設店舗による魅力向上の検討
- 市民交流ゾーン園路整備工事（R4）…動線拡幅、ユニバーサルデザイン配慮
- 駐車場整備に向けたマーケットサウンディング調査（R4）
…駐車場整備のための民間活力検討
- 大坂入口総合案内板更新（R5）…総合案内板の多言語表記や内容の見直し

基本方針4 中心市街地との連携、人々の交流拠点づくり

1 基本方針の方向性

- ・ 周辺の芸術文化施設との相互利用を促し、まちの活性化に貢献
- ・ 親水空間（外堀等）として、景観や魅力の向上

○実施状況と評価

項目	整備計画		進捗状況			施策の評価
	施策	施策に関する具体的内容	完了	継続中	未着手	
1 中心市街地にある他施設との連携	(1) 周辺駐車場等の利活用の促進 【短期】【中期】【長期】	中心市街地駐車場マップなどを活用し、周辺にあるエリアなかいち駐車場などの利活用や新設される県・市連携文化施設の駐車場との連携を図る		○		継続中
	(2) 中心市街地と連携したイベントへの協力 【短期】【中期】【長期】	芸術文化ゾーン内にある県・市連携文化施設等での芸術文化イベントなど、中心市街地で開催されるイベントに協力（広告や会場としての利用等）する		○		継続中
	(3) 景観（建物）との調和 【短期】【中期】【長期】	県・市連携文化施設の建築物の外観は、公園の景観と調和のとれたデザインとするよう関係機関と調整を図る	○			完了
2 公園エントランスの改修	(1) エントランスの整備 （中土橋通り、大坂、松下門跡、東側ポケットパーク、黒門跡） 【短期】【中期】	エントランスとしての機能を強化するため、中土橋通りと大坂の境に歴史を演出する門をイメージした施設を整備する 東側ポケットパークに、千秋公園（久保田城）であることを示すとともに、中土橋や黒門へと誘導するサインを整備する	○		○	継続中
	(2) 冬季の利用促進 （中土橋～大坂、黒門跡融雪化） 【短期】	大坂および唐金橋跡から黒門、市民広場へのルートの舗装に、冬季の積雪・凍結時にも公園へアクセスしやすいように消雪・融雪設備を整備し、併せて大坂周辺の既存駐車場も冬季利用できるように改修を行う		○		継続中
	(3) 内堀周辺の景観整備 【短期】	内堀周辺を公園エントランスにふさわしい景観とするため、園路、階段等の施設を再整備し、トイレを撤去し、水景を楽しむことができ、水辺の添景ともなる休憩施設を整備する		○		継続中
3 親水空間の充実	(1) ポケットパーク（親水広場）からつながる遊歩道（デッキ）の整備 【中期】	大手門の堀内に東側ポケットパークから中土橋門跡へとつながる遊歩道（デッキ）を整備し、歩行者動線を強化するとともにハスを觀賞できる場とする 遊歩道（デッキ）は、周辺の景観と調和のとれたデザインとする		○		継続中
	(2) ハスの有効活用 【短期】【中期】【長期】	ハスの花たたくの提供など、市民に親しまれるものとして有効活用する		○		継続中
4 外堀周辺の景観の向上	(1) 外堀沿いの散策路の整備 【長期】	外堀沿いの住宅および商店を移転し、西側ポケットパークから連続する散策路を整備し、外堀周辺の景観を向上させる			○	未着手

2 施策の進捗状況

(1) 各施策の進捗状況

- ・継続中の施策（全計画期間）

9 施策中 8 施策（着手率 89%） ※うち完了した施策 1 施策

- ・継続中の施策（短期計画）

7 施策中 7 施策（着手率100%） ※うち完了した施策 1 施策

(2) 完了している主な施策

- ・景観（建物）との調和【短期】

あきた芸術劇場ミルハス等の文化施設について、公園の景観と調和の取れたデザインとなるよう関係機関と調整を図った。

- ・エントランスの整備【短期】

エントランスとしての機能を強化するため、中土橋通りと大坂の境に歴史を演出する門をイメージした施設を整備した。

3 課題と今後の対応方針

(1) 継続中の施策について

公園内行為許可等による中心市街地活性化に係るイベントへの協力については、引き続き実施していく。

周辺駐車場の利用案内について、市ホームページでも周知しているが、引き続き情報提供に努めていく。

中土橋通りから大坂、黒門跡の融雪化が完了したため、早期に既存駐車場の改修を行い、冬期の利用促進に努めていく。

(2) 未着手の施策について

外堀沿いの散策路の整備については、関係者との十分な協議等が必要であることから、今後の検討事項とする。

※平成30年度から令和5年度までの主な取組・事業

- 内堀園路整備工事（H31） …内堀周辺の景観整備（園路整備等）
- 大坂・黒門跡融雪設備整備工事（R 2～R 3）
…冬季の利用促進（融雪設備整備）、エントランス整備（歴史を演出する施設整備）
- 中土橋通り（市道：千秋明徳町1号線）融雪設備整備工事（道路維持課）（R 3）
…冬季の利用促進（融雪設備整備）
- 大手門の堀遊歩道整備工事（R 3～R 6 完成）
…ポケットパークからつながる遊歩道（デッキ）の整備
- 周辺駐車場の案内（HPで公表）（R 3） …周辺駐車場等の利活用の促進
- 公園内行為許可等の柔軟な運用（随時） …中心市街地と連携したイベント協力
- ハスの花托の配布（随時） …ハスの有効活用

基本方針5 公民連携による公園の運営マネジメントの推進

1 基本方針の方向性

- ・ 民間事業者との連携等により、公園の魅力や管理の質の向上
- ・ ソフト事業やPR活動の活性化を図り、公園のにぎわいを創出
- ・ 公園の運営・維持管理機能の強化

○実施状況と評価

項目	整備計画		進捗状況			施策の評価	
	施策	施策に関する具体的内容	完了	継続中	未着手		
1 公園運営・維持管理機能の強化	(1) 公園管理事務所移転・再整備【中期】	老朽化した公園管理事務所を胡月池北側に移転・再整備する			○	未着手	
		公園利用者との交錯が少ない北側からの動線を管理車両動線とする			○		
千秋公園内の自然や緑化に関する情報を発信する機能を付属する					○		
	(2) 公民連携・公公連携による管理体制の強化【短期】【中期】	公園管理運営については、NPOおよびボランティア組織等との協働・連携を図る		○		継続中	
		史跡や環境など管理する分野が多岐にわたることから、庁内の関連部署と連携を図りながら管理体制を強化する		○			
行政・民間事業者・市民ボランティア等多様な関係者間の調整・協働を目的とした連絡協議会（仮）の設置を検討する			○				
2 民間活力の導入	(1) 民間活力による収益施設の導入検討（Park-PFI等）【短期】	飲食店、売店、駐車場等のニーズの高い施設について、民間活力の導入による施設整備・維持管理運営の実施を検討する		○		継続中	
		千秋公園の情緒あふれる歴史的な空間（本丸跡周辺）などを活かした、歴史的・芸術文化的なイベントの開催を推進する			○		
	(2) 多様なソフト事業（イベント開催等）の推進【短期】【中期】【長期】	中心市街地の商店街をはじめとした民間企業などと連携した出店や催し物など、魅力的な公園づくりを推進する			○	継続中	
		中心市街地の主要拠点の一つとして、隣接する「エアアなかいち」等と連携した利用促進および観光客誘致を推進する			○		
		観光客誘致を目的としたソフト事業の一つとして、外国人観光客にも知名度が高い秋田犬等の活用を検討する		○			
	(3) 柔軟な運用による公園の利活用の誘致【短期】【中期】【長期】	公園利用の様々なニーズに対応し利用を促進するため、各種イベントの誘致に向け、公園の財産である文化財および自然環境の保護と両立可能なルール等の構築を進める				○	未着手
芸術文化に関するイベントについて、秋田市都市公園条例に基づく公園内行為許可の運用基準の改正（使用料の減免）などを検討し、積極的な誘致を行う					○		
(4) さくらファンドの情報発信と充実【短期】	「千秋公園さくらファンド」の情報発信を継続するとともに、再生のための活動を充実していく			○		継続中	
	ファンド参加者が継続的な関わりの意識を維持し、公園への愛着と利用の促進に繋がるよう体制を見直し拡大を進める			○			
3 情報発信・発信拠点の充実	(1) 園内窓口・情報発信の拠点整備（公園管理事務所）【中期】	新たに整備する公園管理事務所を、開花状況や自然観察など、公園の自然や花に関する情報発信の主要拠点とする			○	継続中	
		インターネットや園内掲示等を活用した花見頃情報の提供を積極的に実施し、集客力と利便性の向上に努める			○		
	(2) 公園ホームページや公園マップの見直し【短期】	ベビーカー・電動車いすの貸出し、AED設置、授乳室の配置など、バリアフリーや緊急時への対応強化を検討する				○	継続中
		公園ホームページや公園マップ、既存のQRコードによる情報提供体制を見直す			○		
		案内板等へのQRコードの掲載は、道案内のほかに歴史や季節の花など多様な情報提供が行える体制を整えます				○	
		民間事業者と連携したQRコードの活用やスタンプラリー等多様なイベント・観光事業へ活用できる運営方法を検討する				○	
		公園ホームページやパンフレット、QRコードを活用した解説標識類の多言語対応を実施する				○	
4 公園施設の長寿命化と安全性の確保	(1) 公園施設の長寿命化と計画的な修繕・更新【短期】【中期】【長期】	維持管理・修繕コスト軽減のために、公園施設の計画的な修繕・更新を行う		○		継続中	
		広域避難地として、オープンスペースの確保や防災機能に配慮した施設の整備に努める			○		
	(2) 防災機能の充実と治安・防犯に対応した施設管理【短期】【中期】【長期】	トイレ等犯罪の温床となりやすい施設の配置の見直しや改修の際には、防犯性・利便性の高い主要動線上への配置する				○	
5 進行管理の見える化の実践	(1) 再整備計画のPDCAサイクルに基づく進行管理【短期】【中期】【長期】	改定された再整備計画について、PDCAサイクルに基づき、進行管理を行う			○	継続中	
		連絡協議会（仮）での年間報告、意見交換とフィードバック状況の報告など、関係者に開かれた進行管理を実践する			○		
	(2) 計画の見直し【中期】【長期】	概ね5年ごとに、各施策について実施状況を基に検証し、必要に応じて計画の見直しを行う			○	継続中	

2 施策の進捗状況

(1) 各施策の進捗状況

- ・継続中の施策（全計画期間）
12施策中10施策（着手率83%）
- ・継続中の施策（短期計画）
9 施策中 8 施策（着手率89%）

(2) 完了している主な施策

現在完了に至った施策はない。

3 課題と今後のおもな対応方針

(1) 継続中の施策について

公園の整備、管理運営に係る民間活力の導入については、これまでの調査結果や事業者の意見等を参考にしながら、引き続き検討を進めていく。

公園内行為許可等によるソフト事業等への協力は、今後も申請者への協力を努めていく。

情報発信の充実については、案内標識等と合わせた検討が必要であり、デザインや標記内容について、関係者との協議を検討していく。

(2) 未着手の施策について

公園管理事務所の移転・再整備（情報発信拠点の整備）については、作業エリアを含めた移転先の検討や、新設する事務所への付加機能の検討などが必要であり、実施には時間を要する。

※平成30年度から令和5年度までの主な取組・事業

- QRコードによる標識類の多言語対応（H30）
…公園ホームページやマップの見直し
- マーケットサウンディング調査（H31、R2、R3、R5）
…千秋公園の各施設を対象としたマーケットサウンディング調査の実施
- 千秋公園関係者連絡会の設置（R2） …公民連携による管理体制の強化
- さくらワークショップの開催（H31、R2、R4、R5）
…さくらファンドの情報発信と充実
- 市民交流ゾーン整備工事（R4） …防災機能に配慮した施設（ソーラー照明灯）整備
- 公園施設長寿命化対策事業（R5） …公園施設（受水槽）の更新
- さくら開花期等の公表（ホームページ） …園内窓口・情報発信の拠点整備
- 公園内行為許可等の柔軟な運用（随時） …多様なソフト事業（イベント開催等）の推進

まとめ

1 実施状況について

千秋公園再整備基本計画は計画全体を通して全60施策中44施策（完了含む）に着手しており、着手率は約7割（73%）となっている。

短期計画においては43施策中36施策（完了含む）に着手しており、着手率約8割（84%）となっている。

2 課題について

これまでは、国の補助制度を活用しながら、各施策を進めてきたが、短期計画ながら未着手となっている公園総合案内板・誘導標識の見直しや歴史解説板の充実については、秋田駅周辺および周辺の文化施設等の既存の案内板との連続性や一貫性を確保するため、関係課所室や有識者等との調整等が必要となり、時間をかけながら進める必要がある。また、厳しい財政状況の中で各施策を推進するためには、補助制度の活用に加え、新たな財源の確保が課題となっている。

3 見直しの判断について

現時点で短期計画ながら「完了」となっていない施策のほか、継続していく必要のある施策が多数あることから、引き続き事業の進行に努めていく。現時点で短期計画ながら未着手となっている施策については、早期の着手に向け、関係者等と連携に努めていく。

事業に着手しているさくらの更新については、再整備計画において植栽する更新サイクルを年間30本を目標に更新を行い再生を図ることとしているが、現実として周辺樹木の高木化により、さくらの植生環境を整えるための伐採抜根に多額の費用を要し年間10数本の更新にとどまっているものの、新たな財源を確保し継続的に更新に取り組んでいることから、引き続き更新を進めていく。

現時点で、全体を通して概ね順調に推移していることから、計画の見直しの必要はないと判断する。

(参考)

計画全体（全計画期間）の進捗率

- 基本方針1 13施策中12施策（着手率 92%）
- 基本方針2 14施策中7施策（着手率 50%）※うち完了した施策3施策
- 基本方針3 12施策中7施策（着手率 58%）
- 基本方針4 9施策中8施策（着手率 89%）※うち完了した施策1施策
- 基本方針5 12施策中10施策（着手率 83%）

○計画全体60施策中44施策において継続中（着手率73%）

短期計画の進捗率

- 基本方針1 9施策中9施策（着手率100%）
- 基本方針2 10施策中6施策（着手率 60%）※うち完了した施策2施策
- 基本方針3 8施策中6施策（着手率 75%）
- 基本方針4 7施策中7施策（着手率100%）※うち完了した施策1施策
- 基本方針5 9施策中8施策（着手率 89%）

○短期計画43施策中36施策において継続中（着手率84%）